

おおずの女性 ～輝いて今～

60年の節目を迎えて

～大洲市連合婦人会大会～

大洲市連合婦人会大会が3月2日(月)、総合福祉センター14階多目的ホールで約150人が出席して開催されました。

今年、連合婦人会が発足して60周年にあたるため、60周年記念大会として開催されました。

開会行事で三好康子会長は「大洲市連合婦人会は、今年で結成から60年を迎えることができた。ここまで続けてこられた先輩に感謝をしたい。これからも、地域の女性が手を取り合い、心の絆を結ぶとともに地域の幸せ、発展に努めたい」とあいさつされました。



その後、多年にわたる活動が他の模範となる6婦人会に、優良婦人会として表彰状が贈られ、婦人会活動と社会教育振興に尽力されている三好会長には、教育長から感謝状が贈られました。

大会では、上野マリエ副会長による「女性の力で地域に活力を！子どもに笑顔を！」をテーマとした研究発表の後、愛媛県教育委員会生涯学習課佐藤郁子係長による「笑顔いっぱい・夢いっぱい 地域をつなぐ婦人会活動」と題した記念講演が行われました。参加した会員は、これからの婦人会活動の参考にしよう、と、熱心に聞いていました。



ALT (外国語指導助手) のつぶやき



ジェニファー・シングルトンさん
イングランド出身
1年目
「大洲は、景色がとても良く、みんなとても優しい」

イギリス人にとって、紅茶は特別な存在です。イギリスでは、多くの人が紅茶を楽しんでいます。紅茶は、体を温め、リラックスさせてくれるので、一杯の紅茶で一日をスタートさせる人が多くいます。私たちは、心配事やストレスなどがある人に、ティーカップを差し出します。紅茶がすべてを解決してくれます。

17世紀、紅茶はぜいたく品で上流階級だけで飲まれていました。貴族の女性は、豪華な食器でティーパーティーを開いていました。そのうち密輸する人が増えたため紅茶の価格が下落し、多くの人を楽しめるようになりました。19世紀になると、お店に紅茶を飲みに行くのが女性の間で流行しました。朝遅くに朝食をとる公爵夫人たちの間で、午後にサンドウィッチと一緒に紅茶を飲み、一休みする「午後の紅茶」と呼ばれる習慣が流行しました。その後、紅茶を飲みながらバターを塗ったパンやスコーン、ケーキ、ビスケットなどが食べられ、社交の場となりました。



イギリスの紅茶文化

今では「たくさん飲めて、長く保温できる」という点で、マグカップで飲むことが多くなりました。ティーポットは電気ポットに、茶葉はティーバッグに変わりました。「午後の紅茶」を楽しむ人は減りましたが、スコーンやケーキを片手に友だちと話をしに喫茶店に行く女性は多くいます。

「Twinings」[Yorkshire Tea] [PG Tips] が人気のブランドです。私はアールグレイにミルク、砂糖を少し入れ、チョコビスケットを食べるのがとても好きです。

疲れた時には、紅茶を一杯飲んでみてはいかがですか。リフレッシュできますよ。



大洲藩主加藤家の文化財（第拾巻幕）

加藤泰幹（かとうやすもと）



大洲藩11代藩主加藤泰幹は、文化10年（1813）泰済の子として大洲に生まれ、文政9年（1826）父泰済の死去に伴い家督を相続しました。

泰幹の藩主就任時は、大洪水の直後であったため、藩では厳しい経費節減を図っていました。泰幹は、これに加えて文政11年（1828）より3年間、役所予算の2割削減を実施し、天保4年（1833）には省略令を5年延長したほか、修繕は一切認めないという厳しいものとなりました。

一方で、度重なる洪水に悩んだ泰幹は、天保2年（1831）矢落川と肱川が合流する付近の川幅が狭いことから、五郎慶雲寺山の一部を削って川幅を広げる大規模な治水工事を実施しました。

また、泰幹は父泰済が取り組ん

でいた『韓魏公集』刊行の意志を引き継ぎます。喪中であっても作業を継続し、天保12年（1841）から3年間かけて本文を完刻し、弘化3年（1846）儒者林樾宇の序文を冠して江戸の玉山堂などから出版しました。

泰幹によって刊行された『韓魏公集』は17冊にもほり、泰済時代に刊行された『別録』、『遺事』、『家傳』も含まれています。このため、『別録』、『遺事』、『家傳』は泰済版と泰幹版の二種類が存在しています。

父の偉業を達成した泰幹は、嘉永2年（1849）中風（脳卒中）による半身不随などを病み、嘉永6年（1853）江戸において41歳で没しました。

遺骸は海禅寺に葬られ、遺髪は龍護山曹溪院に埋葬され、墓所は父泰済の墓所の裏に造られています。



加藤泰幹の墓所（龍護山）

大洲商工会議所青年部 大洲ご当地クイズ

桜見物の好季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。春先は大洲城の桜がとてもきれいに咲き誇り、花見や散歩を楽しむ人でにぎわいます。平成16年に主に市民による寄付によって復元された天守は、世界に誇れる大洲の魅力の一つです。まだ一度も足を運んだことが無い人は、桜のきれいなこの時期に大洲城を訪れてみてはいかがでしょうか。

【今月のクイズ】

大洲城には、隠された彫り物（木で彫った置物）があります。それは次のうちどれでしょう。

- ① 「ネズミ」と「テントウムシ」
- ② 「ツル」と「カメ」
- ③ 「ヘビ」と「ネズミ」



【先月号のクイズの解答・解説】

HONKIプロジェクトのHONKIとは、なんの事でしょうか。

- ① 大人が本気になった気持ちを表した。
- ② メンバーの名前の頭文字を一文字ずつ表した。
- ③ 4つの地域の頭文字と愛を掛けあわせて表した。

解答…③

解説…肱川（H）、大洲（O）、長浜（N）、河辺（K）、愛（I）を掛けあわせたもの。総勢1,040人が参加した、音頭ムービーのプロジェクト名がHONKIプロジェクト。大洲の良い所がたくさん詰まったムービーが完成しました。ぜひご覧ください。



※今月のクイズの答えは、広報大洲5月号に掲載します。

大洲市を守る消防団員の活動や取り組みを、シリーズでご紹介します。

事業所が消防団活動を応援

消防団協力事業所表示証交付式

消防団協力事業所表示証交付式が、2月20日(金)、大洲消防署でありました。

消防団員になっていない従業員を数多く雇用し、活動に理解のある事業所として認められた、J A えひめアイパックス株式会社(写真の前列右から2番目)、株式会社西田興産(写真の前列左から2番目)、愛媛たいき農業協同組合(写真の前列中央)の3事業所に、清水市長から表示証が手渡されました。

清水市長は「消防団は、共助の大きな役割を担っているが、団員の不足などで活動が厳しくなっていると伺っている。今後も協力事業所を増やして、団の環境づくりを進めていく」とあいさつしました。

大洲市消防団の中川団長が「消防団は、多種多様な災害現場で危険と隣り合わせの活動をしている。今回、3事業所で、安心して出動できる環境が整った。これからも協力事業所が増えるように、団としても啓発活動をしていきたい」と謝辞を述べました。

また、交付式開催以降に大洲市森林組合およびK L C株式会社から申し出があり、3月10日付で表示証の交付を行い、市内の消防団協力事業所数は5事業所となりました。



現在、全国の消防団員の約7割は、サラリーマンなどの被雇用者であるといわれています。大洲市でも、消防団員1471人のうち約78パーセントに当たる1146人が被雇用者となっています。市では、今後もこの制度の普及に努め、協力事業所を増やすことにより、消防団に入団しやすく、団員として活動しやすい環境整備を図ることにしています。

【問い合わせ先】
危機管理課消防係 ☎241742

文化財

松平定信筆八幡神社額
書並びに扁額
大洲市指定有形文化財(書跡)
八幡神社所有



大洲領総鎮守八幡神社の拝殿には、「八幡宮」と書かれた扁額が掲げられています。これは、寛政3年(1791)11月、時の老中松平定信(白河藩主)が八幡神社へ奉納した書跡をもとに作られたものです。

この書跡は、定信の継室である隼姫(大洲藩7代藩主加藤泰武の娘)が病気になった際に、八幡神社が献上した祈祷札によって病気が回復したことや、定信の子を懐妊して同年9月には男子(のちの松平定永)が無事に誕生したことから、そのお礼として定信自ら筆をとったものです。

「八幡宮」の文字には、神の使いとされる鳩10羽が隠されていて、定信の遊び心が感じられるほか、幕府の要職にあった定信と大洲藩との深い関わりを知る貴重な資料です。

(昭和46年8月30日指定)

野鳥

アカガシラサギ(赤頭鷺)
ペリカン目サギ科
全長 45cm



県内では珍しいサギの仲間で、市内にも時折現われますが、ほとんど冬羽の時です。一見ゴイサギの幼鳥(ホシゴイとも呼ばれる)にも似ていて、飛ぶとコサギのようにも見えることから、もっと頻繁に飛来しているのかもしれませんが。

越冬期の記録が多いため、名前の由来となった赤い頭の夏羽は、めったに出会えることがありません。また、珍しい割には、伊予大洲駅近くのレンコン畑に出現するところをみると、人を恐れることはあまりないようで、素知らぬふりで私たちの生活に溶け込んでいるようにも思えます。

野鳥にかかわらず、全ての生き物を一歩踏み込んで見つめることで、知らない世界が見えてくることがあります。全ての事に興味を持ちながら、自分なりの考えを持つ事で、必ず人生が豊かになると私は信じています。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④



2月28日(土)

天使の歌声をみなさんに ～第20回大洲少年少女合唱団定期演奏会～

第20回大洲少年少女合唱団の定期演奏会が、大洲市民会館大ホールで開催されました。

今回は「定演20回ありがとう」をテーマに、宮崎駿アニメメドレー・Tomorrow・翼をくださいなどの曲を披露しました。

合唱団の児童たちは、300人を超える観客の前で、日ごろの練習の成果を発揮しました。



2月7日(土)

ぬくもりのある地域づくりを目指して ～今坊公民館・友愛館大会～

平成26年度今坊公民館・友愛館大会が、「ぬくもりのある地域づくりを目指して」を大会テーマに、今坊教育集会所で開催されました。

当日は、地元の小中学生による発表のほか、全国隣保館連絡協議会常任顧問中尾由喜雄さんを講師に迎え、震災時の体験を交えた貴重な講演を聞くことができました。



3月1日(日)

雨ニモマケズ風ニモマケズ ～第16回しおかぜウォークなのはな大会～

四国旅客鉄道株式会社松山駅主催のウォーキング大会が、伊予長浜駅～伊予上灘駅間で開催されました。

あいにくの雨となりましたが、参加者たちは雨対策、防寒対策を万全にし、元気よく約16kmの行程を歩きました。

「今坊しおさい市」に設けられた休憩所では、たい飯やたこ飯、漬物に参加者たちが舌鼓を打っていました。



2月8日(日)

生命・財産は自分たちで守ろう ～肱川自主防災組織5地区合同防災訓練～

防災意識の高まりを受けて、肱川地域で初めての自主防災組織5地区合同防災訓練が、地域住民約900人の参加で行われました。

参加者は、午前9時の放送とサイレンを合図に、安否確認を行いながら指定避難場所へ移動しました。避難所では、起震車や煙体験、AED講習、水消火器での消火活動などを行いました。